

STRIKERS 1945 PLUS Portable

【すらいかーず1945 ぷらす ぽーたぶる】

ジャンル	縦シューティング	
対応機種	プレイステーション・ポータブル	
発売元	アークシステムワークス	
開発元	クロスノーツ	
発売日	2009年8月6日	×
価格	3,990円(税込)	
分類	劣化移植判定	
ポイント	滅茶苦茶な下手移植 各種デモ丸々カット 充実のオプション再来	

概要

元々『ストライカーズ』シリーズは彩京の開発した縦スクロールシューティングであり、究極タイガー辺りにまで立ち返ったシンプルなゲームシステム、その堅実さとは裏腹にオーバーテクノロジー兵器が次々飛び出すハッター具合が好評を博していた。

その中でも本作は、海外に向けてMVS(ネオジオ)で発売された異色の経緯を持っており、国内へ向けて正式に発売されるのは今回が初となるため、割と注目されたようだがその実態は...

問題点

- ▶ あまりにも低い移植度
 - ▶ ボス戦のBGMが無い、ステージクリア時のBGMがかなり遅れて再生される。
 - ▶ 1周クリア時の評価画面が無い、2周目クリア時のスタッフロールも無い。
 - ▶ 機体の一つ、ライトニングのスーパーショットストックのゲージの溜まり方が原作と比べて異様に早い。
 - ▶ また、ライトニングのショットの色が何故か青い(AC版では黄色だった。)
 - ▶ 列車面のボスの第一形態の爆発のグラフィックが違う。
 - ▶ 原作よりも敵が硬く設定されている為に、1ステージにおけるプレイ時間が若干間延びしている。
 - ▶ 他にも再現されていない部分が色々あるため、原作をプレイした人には別物と感じてしまう。
- ▶ 難易度・残機設定が無い
 - ▶ 2009年リリースのSTGでこれはお粗末である。ちなみにオプション項目は「画面比率変更」と「キー変更」のみ。
 - ▶ SS・PS版の1945シリーズでは残機を1~4まで選んだり、難易度を7段階から選ぶ事が出来た。同じクロスノーツ製の劣化移植として不評を買ったPS2版1&2ですら難易度、残機変更は出来た。
- ▶ 二人同時プレイの不具合。
 - ▶ 片方プレイヤーがゲームオーバーになると、プレイ中のもう片方も強制的にゲームオーバーになる。
- ▶ ロードが長い。
 - ▶ ロードは画面切り替わり毎に入り、最新のPSP3000型でもかなり待たされる。原作の魅力であったテンポの良さが完全に殺されている。

上記のSS・PS・PS2版では、さほど長いロードではなかった。

- ▶ 家庭用ならではの追加モードは無い
 - ▶ SS・PSの1945シリーズには、機体紹介のムービーが家庭用オリジナルモードとしてあった。
- ▶ 上記の通りまともな移植がされていない上に、快適性・ボリュームの面でも最悪なゲームが一本収録されただけフルプライスである。
 - ▶ 全体的に過去のハードで移植されたものより劣化しており、見劣る部分が多い。
- ▶ ちなみにゲーム中のFiat G - 56は移動速度が遅いのに、公式サイトでは機動力が高いとウソをついている。まあゲームと直接関係ない事なのが救いではある。
- ▶ ロードの長さ・二人同時プレイバグにいらつき、中身の薄さでさらにいらつく。

評価点

- ▶ シューティングとしての形体は流石に保っており、原作を知らない人にとっては楽しめなくはない。
- ▶ 一人プレイでは特に目立ったバグは確認されていないので、その辺は安心ではある。
- ▶ 全然原作と似てないとはいえ、外見だけは一応それっぽく移植されている。PS2ヴァルケンのような電波アレンジがされていない分、こっちはまだマシに思える。
- ▶ 初回特典としてオリジナルサントラが付く。ある意味、本体がおまけゲームといえるかもしれない。
 - ▶ しかしサントラ付ける位ならゲーム内にサウンドテスト入れるという指摘も少なくない。また、このサントラにはゲームでは省かれたボス戦BGMは収録されているとの事。そんなところよりも入れるべき部分を優先して入れる。

+ アーケード版と比べてみよう